

創造性を核とした都市間の国際的な連携によって、地域の創造産業の発展を図り、都市の持続可能な開発を目指すもの。各都市は、同ネットワークを活用し、知識・経験の交流、人材育成、プログラム協力を行う。平成16（2004）年に創設。7分野で世界の350都市が加盟（R5年10月末現在）

① 対象分野

デザイン（49）、文学（53）、映画（26）、音楽（75）、クラフト&フォークアート（66）、食文化（56）、メディアアート（25）
※カッコ内は都市数

② 加盟都市の活動

- ・ 年次総会、分野別会議等への参加による優良事例の共有
- ・ 登録分野に係る国際フォーラム/展示会への参加又は開催
- ・ 関係者の相互派遣を通じた交流や人材育成
- ・ 地域産業・観光・教育・福祉など他分野と結びついた事業の実施

③ 加盟の効果

- ・ 国内外への情報発信、他のUCCN加盟都市との交流が容易になり、都市ブランドイメージが向上。
 - ・ ユネスコ創造都市や登録分野という切り口に立脚した具体的な取組がしやすくなる。
 - ・ 市民の郷土の文化に対する誇り、愛着の醸成につながる。
- ※浜松市においては、市民アンケートにおける文化事業の取組に対する満足度が、加盟後10年間で12%アップ

2. UCCN国内加盟状況（令和5年11月現在：11市）



山形県山形市（2017年、映画）



山形県鶴岡市（2014年、食文化）



石川県金沢市（2009年、クラフト&フォークアート）



岡山県岡山市（2023年、文学）



大分県臼杵市（2021年、食文化）



北海道旭川市（2019年、デザイン）



北海道札幌市（2013年、メディアアート）



静岡県浜松市（2014年、音楽）



愛知県名古屋市（2008年、デザイン）



兵庫県神戸市（2008年、デザイン）



兵庫県丹波篠山市（2015年、クラフト&フォークアート）



3 . 申請検討開始のタイミングについて

◆これまで

平成24年4月に創造都市推進局を設置し、「魅力にあふれ、人が輝く創造都市」の実現を目指して、高松市創造都市推進ビジョンを策定し、産業経済、文化、観光、スポーツ及びその他の関連施策を一体的に推進してきた。



◆現在

- ・これまでの施策の積上げにより、創造都市としての熟度が高まっているとともに、国内外からの認知度も向上してきている。
- ・本年3月に策定した第3次ビジョンにおいては「行政だけではなく、様々な関係者が主体的に関わり、連携していく体制づくりや市全体の機運の醸成を図っていくことで、UCCNへの加盟申請に向けた土壌を整備」していくとしている。
- ・公財)文化芸術財団に地域アーツカウンシル事務局を設置し、文化芸術の支援拠点が完成予定（R7）

本市においても、機運が熟したタイミングであり、第7次総合計画で掲げる「世界都市・高松」につながる取組であることから、UCCN加盟申請について具体的に検討を進めることとしたい。

4. 申請分野の検討について①

- ・申請に当たっては、官民学の幅広い関係者が参加する会議体で議論した上で、「専門家を対象とした国際的な大会」「一般客を対象とした大規模イベント」「教育プログラム」「社会的弱者を対象としたプロジェクト」等の全項目を網羅した申請書を作成する必要がある。

分野	本市の関係事業・資源(例)
デザイン	瀬戸内国際芸術祭・建築
文学	香川菊池寛賞、菊池寛記念館
映画	さめき映画祭、けっこい盆栽
音楽	高松国際ピアノコンクール、高松第一高校
クラフト&フォークアート	香川漆器、庵治石、盆栽
食文化	さめきうどん、高松産ごじまん品
メディアアート	高松市美術館

◆市長への提言（別紙資料3-2のとおり）

本年4月24日に、「創造都市推進を願う市民グループ」から市長に対し、本市には、音楽に関するソフト及びハードの地域資源が豊富にあることを踏まえ、**音楽分野**におけるUCCN加盟の検討についての提言が行われた。

5 . 申請分野の検討について②

「音楽」分野の検証

- ・音楽については、これまで官民間わず幅広い取組が行われている。また、本市の取り組む社会的包摂事業など、様々な事業に音楽とのつながりがある。
- ・音楽は、令和5年に実施した市民アンケートの結果、文化芸術のうち市民が最も多く活動している分野となっており、鑑賞した分野としても、美術に次いで2番目に多くなっている。
- ・音楽は、様々な分野と連携しやすく、今後も「工芸」「こども」「食」など他分野と組み合わせていくことで、本市の創造都市・文化芸術施策全体へ取組を波及させることができる。

主な音楽文化・事業等	音楽を含む事業等	主な音楽資源（ハード）	主な音楽資源（ソフト）
・高松国際ピアノコンクール ・ピアノコンクール推進事業 ・ミュージックブルーフェス ・街クラシックin高松 ・0才からのコンサート ・オペラ「扇の的」 ・アーツフェスタたかまつ ・デビューリサイタル ・たかまつ国際古楽祭 ・音の祭り ・東谷農村歌舞伎	・瀬戸内国際芸術祭 ・芸術士派遣事業 ・現代サーカス ・学校巡回芸術教室 ・学校巡回能楽教室 ・デリバリーアーツ ・障がい者アートルインク事業 ・文化奨励賞 ・文化芸術活動助成 ・姉妹都市交流	・サンポートホール高松 ・高松国分寺ホール ・瓦町アートステーション ・高松市生涯学習センター「まなびCAN」 ・穴吹学園ホール ・香川県教育会館「ミュージズホール」 ・香川県県民ホール ・県立アリーナ	・高松第一高校音楽科 ・四国二期会 ・瀬戸フィルハーモニー交響楽団 ・高松交響楽団 ・かがわジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ（KJO） ・高松市役所吹奏楽団 ※この他、合唱や吹奏楽等、音楽団体が多数

- ・ UCCNは、2年に一度加盟申請の募集をしており、次回の申請は**令和7年**となっている。
- ・ 5月末に国内、6月末にユネスコの申請受付を締め切り、審査の後、同年11月までに結果発表。
- ・ 申請は2回まで連続して行うことが可能。

令和 6 年						令和 7 年							
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	～	11月
●文化芸術振興審議会（7/8） ●創造都市推進審議会（7/17） ●UCCN加盟検討委員会（仮）設置						年度内に2～3回程度会議を開催し、 記載内容を固める							
日本語版完成						英訳開始							
英訳精査						文科省 5月末△(予定) ユネスコ 6月末△(予定)							
申請書提出の報告等						申請書提出の報告等							
ユネスコ 結果発表						ユネスコ 結果発表							

<令和6年度第1回高松市文化芸術振興審議会（7/8開催）での主な御意見>

- 平成24年に創造都市推進局が設置されてから、音楽に関する活動が増加し、食と音楽、盆栽と音楽などのコラボで新たな展開もあった。
- 音楽分野は頑張っている団体も多く、今、勢いがある分野と思う。
- 音楽分野はネットワークの発展や交流が広がりやすく、他の分野とも連携しやすい。
- 第7次高松市総合計画でも「世界都市・高松」とされており、今が加盟を目指すいいタイミングと思う。
- 音楽を軸に、他の創造分野や高松ならではのものを交えて、本市の独自性と、これから何をしていくか、を魅力的に申請書に盛り込む必要があると思う。
- 音楽分野だけ、また音楽の中の特定の部分だけが優位に立つことないよう留意してほしい。
- 音楽はとても多くの人をつなぐことができるので、幅広い分野とつながるよう検討してほしい。